

院内謎解きツアーや
仕事体験でふれあい
中川区の名古屋共立病院

病院の内部や働く人の仕事を知ってもらおうと、中川区法華1の名古屋共立病院で11月30日、「ふれあいデー2025」が開かれた。子どもから高齢者まで535人が訪れ、病院や健康について関心を高めた。

毎秋恒例で、病院の設備や機器の説明を受けながら院内を回る謎解きツアーや人工呼吸器の着用体験、薬剤師との軟こう作りなど約15種類の催しがあった。臨床検査技師の仕事を経験した年長の田崎奏汰ちゃん(6)は、顕微鏡をのぞきこんで菌を観察し「初めて。赤血球や白血球が紫やピン

医療従事者の仕事体験で軟こう作りをする親子連れ。中川区法華1の名古屋共立病院で



ク色のつぶつぶに見えた」と話した。

ほかに「糖尿病ってなに？ どうして気をつけるの？」と題し、元中日ドラゴンズ投手で偕行会グループ健康PRアンバサダーの山本昌さんがトークショーを行った。